



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月25日

上場取引所 名

上場会社名 日華化学株式会社

コード番号 4463 URL <http://nicca.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部副本部長 (氏名) 宮本 和浩

TEL 0776-24-0213

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,648	△0.1	318	△18.4	317	△8.3	156	△3.3
23年3月期第1四半期	7,657	12.6	390	45.5	346	19.4	161	△15.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 348百万円 (△16.8%) 23年3月期第1四半期 419百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	8.88	—
23年3月期第1四半期	9.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	33,729	12,038	30.1	577.31
23年3月期	32,795	11,733	30.3	564.89

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 10,161百万円 23年3月期 9,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	1.4	320	△56.2	320	△51.2	150	△53.7	8.52
通期	33,700	9.4	1,120	11.2	1,090	30.2	540	102.3	30.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	17,710,000 株	23年3月期	17,710,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	108,801 株	23年3月期	108,441 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	17,601,389 株	23年3月期1Q	17,606,244 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や電力供給不安等により経済活動が大きく混乱し、企業収益や設備投資の動向が鈍化する等、景気の先行き不透明感が高まる状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進しましたが、売上高は76億4千8百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は3億1千8百万円(同18.4%減)、経常利益は3億1千7百万円(同8.3%減)、四半期純利益は1億5千6百万円(同3.3%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①化学品事業

売上高は60億6千4百万円(同1.3%減)、セグメント利益は2億7千4百万円(同43.9%減)となりました。

海外では、中国や台湾における既存分野の深耕により、売上高は好調を維持しましたが、国内では、東日本大震災により自動車関連産業を中心に大きな影響を受け、売上高は減少しました。

②化粧品事業

売上高は15億8千4百万円(同10.3%増)、セグメント利益は3億7千万円(同41.0%増)となりました。

美容業界は東日本大震災や計画停電の影響を受け厳しい状況が続きましたが、デミコスメティクスにおけるヘアケア剤の新商品拡販や新ブランド「イーラル」の積極的な事業展開により、売上高は増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、9億3千3百万円増加し、337億2千9百万円となりました。現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加及びたな卸資産の増加等により、総資産は増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、6億2千8百万円増加し、216億9千万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の増加及び長期借入金の増加であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、3億4百万円増加し、120億3千8百万円となりました。利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加及び少数株主持分の増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の30.3%から30.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月22日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準の変更)

在外子会社等の資産及び負債並びに収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び少数株主持分に含めて計上していましたが、当第1四半期連結会計期間より収益及び費用は期中平均為替相場により円貨に換算しております。

この変更は、在外子会社等の収益及び費用の重要性が増し、為替相場の変動が連結財務諸表に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

当第1四半期連結会計期間より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）を適用し、平成23年3月期の連結財務諸表を、遡及処理し、修正再表示しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,965,994	3,374,745
受取手形及び売掛金	7,000,248	7,269,574
商品及び製品	2,327,550	2,510,318
仕掛品	325,718	336,148
原材料及び貯蔵品	2,425,126	2,504,926
その他	976,651	905,320
貸倒引当金	△47,211	△48,508
流動資産合計	15,974,078	16,852,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,373,592	5,360,250
機械装置及び運搬具（純額）	2,240,480	2,155,926
土地	6,165,795	6,196,159
その他（純額）	494,193	605,198
有形固定資産合計	14,274,062	14,317,534
無形固定資産		
のれん	4,581	5,616
その他	565,387	554,971
無形固定資産合計	569,969	560,587
投資その他の資産	1,977,403	1,998,474
固定資産合計	16,821,435	16,876,596
資産合計	32,795,513	33,729,122

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,462,836	3,706,976
短期借入金	7,550,963	7,762,462
未払法人税等	75,601	87,947
賞与引当金	430,000	224,659
その他	1,738,552	1,634,190
流動負債合計	13,257,954	13,416,236
固定負債		
長期借入金	4,705,695	5,081,949
退職給付引当金	2,290,557	2,281,154
その他	807,447	911,291
固定負債合計	7,803,700	8,274,395
負債合計	21,061,655	21,690,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,168	3,040,169
利益剰余金	6,248,904	6,317,267
自己株式	△44,894	△45,050
株主資本合計	12,142,722	12,210,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,304	55,692
為替換算調整勘定	△2,269,125	△2,105,272
その他の包括利益累計額合計	△2,199,821	△2,049,580
少数株主持分	1,790,956	1,877,138
純資産合計	11,733,858	12,038,490
負債純資産合計	32,795,513	33,729,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	7,657,468	7,648,776
売上原価	5,048,983	5,180,087
売上総利益	2,608,485	2,468,688
販売費及び一般管理費	2,218,111	2,150,040
営業利益	390,373	318,647
営業外収益		
受取利息	2,473	2,033
受取配当金	6,903	8,258
負ののれん償却額	1,692	620
持分法による投資利益	27,145	24,081
為替差益	—	5,412
その他	42,181	42,560
営業外収益合計	80,396	82,967
営業外費用		
支払利息	39,994	40,548
為替差損	51,837	—
売上割引	—	18,548
その他	32,769	25,225
営業外費用合計	124,601	84,322
経常利益	346,169	317,292
特別利益		
固定資産売却益	1,788	—
特別利益合計	1,788	—
特別損失		
固定資産除却損	631	2,148
固定資産売却損	41,091	389
出資金評価損	4,784	—
災害による損失	—	61,912
特別損失合計	46,507	64,449
税金等調整前四半期純利益	301,450	252,842
法人税等	85,731	54,138
少数株主損益調整前四半期純利益	215,719	198,704
少数株主利益	54,022	42,333
四半期純利益	161,696	156,370

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	215,719	198,704
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△17,858	△13,612
為替換算調整勘定	221,298	163,853
その他の包括利益合計	203,439	150,241
四半期包括利益	419,159	348,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,136	306,611
少数株主に係る四半期包括利益	54,022	42,333

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期当連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,141,753	1,436,716	7,578,469	78,999	7,657,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,749	—	1,749	4,543	6,292
計	6,143,502	1,436,716	7,580,218	83,542	7,663,761
セグメント利益又は損失(△)	489,524	262,933	752,457	△10,767	741,690

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	752,457
「その他」の区分の利益	△10,767
セグメント間取引消去	5,926
のれんの償却額	159
全社費用(注)	△357,402
四半期連結損益計算書の営業利益	390,373

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期当連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	6,064,591	1,584,184	7,648,776	7,648,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,998	7,779	9,777	9,777
計	6,066,589	1,591,964	7,658,553	7,658,553
セグメント利益	274,649	370,703	645,353	645,353

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	645,353
セグメント間取引消去	4,063
のれんの償却額	1,231
全社費用(注)	△332,000
四半期連結損益計算書の営業利益	318,647

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

在外子会社等の資産及び負債並びに収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び少数株主持分に含めて計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より収益及び費用は期中平均為替相場により円貨に換算しております。この変更は、在外子会社等の収益及び費用の重要性が増し、為替相場の変動が経営管理情報に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に経営管理情報に反映させるために行ったものであります。この変更に伴い、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の算定方法を変更し、前第1四半期連結累計期間の金額を修正再表示しております。

また、従来、「その他」に区分しておりました医薬品事業等につきましては、平成23年3月31日をもって事業撤退しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。